

つる しぜん せいかつ きろく
都留の自然と生活の記録

こども
フルーツノート*



こども フィールドノート



— もくじ —

^み見る! ^し知る! ^{しら}調べる! ^{かいこ}お蚕さま ^{しんぶん}新聞 … 01

^{つきゅう}ふしぎを追 ^{おりもの}究! 織物プロジェクト … 08

^{ふゆ}冬さがし … 14

^{ちいき}地域を ^{はっけん}発見 … 17

^{ちいき}地域のお祭り ^{まつ}調べ… 20

^{とくしゅう}特集 うたう

^{はいく}俳句づくりにチャレンジ! … 25

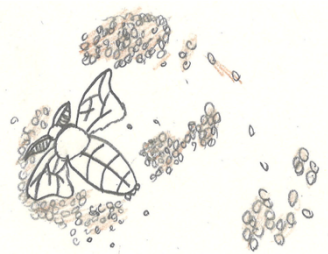
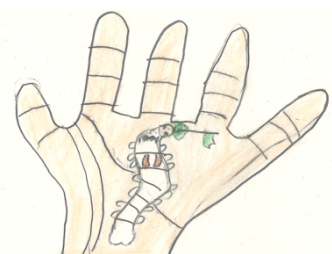
^{おも}思いを ^し詩に ^こ込めて … 28

きって、はってみよう … 33

^{きせつ}季節のうた … 34

^{たいわ}てつがく対話の ^{きろく}記録 … 42

てつがくエッセイ … 44



見る! 知る! 調べる! お蚕さま新聞 (4年生)

少し前は都留で「お蚕さま」を育てていたらしい。そのことを知ったわたしたちは、じぶんたちでもお蚕さまを育てることにしました。そして、毎日のお世話を重ね、日々の様子や変化をじっくりと観察する中で、たくさんの〈ふしぎ〉と出会いました。その〈ふしぎ〉を出発点に調べ活動を進め「お蚕さま新聞」としてまとめました。

ニョロニョロしてゑか虫

さいしょは長くて太さは5mmくらいだった。でもだっぴりするにつれて大きくなった。さいごはしつこう大きくなった。



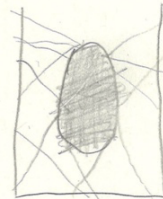
ゑか虫はくものほを食ふ。だっぴしたあとは4ひきに6まいあげたけど、はかなくなつた。

蚕新聞

7月6日(木)

糸にするとしんでしまふカイコ

カイコはまゆをつくりますが、きぬ糸をつくる時につるさないといけないのです。



成虫にするのはたいへん

ゑか虫から成虫までそだてるのはさいごまでそだてることで虫をたいせつなことにすることがあります。成虫をみればかたてです。

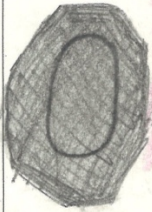


カイコの成長新聞

7月16日(木)

かいこのもよう

とっせんへんい
 親とは、ちがった
 せいしつやとくら
 うをもった子が生
 まれること。
 むかしが、らたく
 さんかわれてき
 たカイコは、どつ
 ぜんへんいのカ
 イコをもちいて
 色や形もよつな
 どさまざまな研
 究がなされて
 います。



かいこのしゅるい

・レモン しモン色のカ
 イコ。レモン色になるしく
 みが研究されている。・コブ
 第3、5、8体節にコブがある
 なせそこにだけコブが
 出るのかはまだ分かって
 いない。ひめこ 中国に
 多く。もようが
 なくからだは、
 白い。黒し
 ま 全体が黒い
 が体節のあい
 だに白いおび
 がある。白し
 まとよばれた
 こともある。く
 ろこ 全体が黒
 く、体の横の
 すじがある。
 ヨトウムツ
 というがのよ
 うちゅうに
 よくにいて
 いる。



レモン

しモン色のカイコ。
 しモン色になるしく
 みが研究されている。

コブ

第3、5、8体節に
 コブがある。なせそ
 だけにだけコブがで
 きるかは、まだ分
 かっていない。

ひめこ

中国に多い。もよ
 うがなくからだは、
 白い。

黒しま

全体が黒い。が体
 節のあいだに白い
 おびがある。白し
 まとよばれたこと
 もある。

くろこ

全体が黒く、体の
 横のすじがある。
 ヨトウムツという
 がのようちゅう
 によくにいてい
 る。

カイコのからだ

新聞

7月(木) 4年組

こんなもようがある

眼状紋は名前のとおり

目みたいにお
えるけどだ
だのもよう
てほかの虫を
おどかすため



眼状紋

半月紋はかけたお月さまみ



半月紋

たいな形のも
ようでてぎを
おどかすため
れようこそお
わしくはわか
らない。

星状紋は星のよ
うな形でなぜある
のか半月紋とおな
しくわからな
い

カイコのじゅうようなところ

気間はそこがうくうエを



気間

とリいれるくる
くてほそくだに
つながってせんた
いにくうきがい
ぞわたる気間は
せんたにほこある

単眼

さゆうらつちつ
りはつちりみえ
はオエたよいか
らの小ササ

あしは「ば」人前が「あし」
くま人中の足は「あし」
いちばんうしろの足が
「あし」といふ。
うしろのつのみた
いなやつが「あし」



はいわかんはせな
かに見えろば
のやくあをばたし
ていてうしろから
おくりだしている

カイコの病気新聞

7月16日 (水)

カイコの病気をしらべる理由

私がカイコの病気を調べようと思った理由は

くんのカイコが病気になってしまいました。なので私とちゃんか病気の名前をつきとめました。そうするとなん化病、こつ化病、びりゅうし病などたくさんでてきました。私はそれがすごくきになったのでそのまゝ、一采田あぶない病気などをたくさんしらべました。



カイコのことをおばあちゃんにインタビューして

おばあちゃんはどうして蚕を飼っていたの？

おばあちゃんのお父さん

ひいおじいさんがようさんれんというところではたらいいてお蚕さんの先生をしていたからです。

場所は具体的にどこですか。ようさんれんという場所

所はつる市のや村団地の前にありました。ちいきを

回るときは、宝がたんをつて



びりゅうし病

あぶない病
19世紀にヨーロッパで発生した、病気です。病気の中で一番あぶない病気です。

なん化病

あぶない病
なん化病はカゴが生えてしんでしまう病気です。

こつ化病


あぶない病
こつ化病はかこの体が黄色やみどり、白になりまう。そして体が小さくなります。



ふしぎを追^{ついぎゆう}究！わたしの織物プロ^{おりもの}ジェクト（4年^{ねんせい}生）

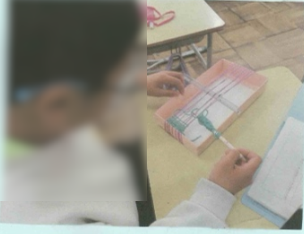
織物^{おりもの}を見て、織物^{おりもの}にさわ^みり、織物^{おりもの}をつくる現場^{げんば}である工場^{こうじょう}を訪^{たず}ねることで、わたしたちは織物^{おりもの}の魅力^{みりよく}を知^しり、織物^{おりもの}に関^{かか}わるた^かくさんの〈ふしぎ〉に出^で会^あいました。その織物^{おりもの}をめぐ^{めぐ}る〈わたしのふしぎ〉を追^{ついぎゆう}究^{きゆう}するために、織物^{おりもの}プロ^{くわだ}ジェクト^{けくと}を企^{くわだ}てました。

ほんもの^{ほんもの}のでおりき^{おりき}でや^やてみ^みた
そしたら^{そしたら}そ^そうか^かかん^{かん}たん^{たん}だ^だた^たでも^{でも}う^う
でかつ^{かつ}が^がれ^れて^てし^した^たか^かた^た。
でも^{でも}やり^{やり}つ^つが^がけ^けた^た。
かん^{かん}そう^{そう}
や^やて^てみ^みて^てし^しち^ちば^ばん^んさい^{さい}し^しょ^ょは^は、き^きつ^つが^がた^た。
でも^{でも}ど^どん^んど^どん^んや^やて^てい^いく^くち^ちに^にう^うま^まく^くな^なっ^っ
て^てい^いる^るこ^こと^とが^が自^じ分^{ぶん}で^でも^もあ^あわ^わか^かた^た。





き^きも^もん^ん
き^きも^もん^んま^まだ^ださい^{さい}ご^ごの^のむ^むす^すぶ^ぶと^と
こ^ころ^ろが^があ^あら^らな^ない^い。

自^じ分^{ぶん}の^のて^ており^{おり}き^きプロ^{プロ}ジェ^{ジェ}クト^{クト}





お^おり^りも^もの^のニ^ニう^うじ^じょう^{じょう}けん^{けん}か^かく^くに^に
い^いら^らた^たと^とき^きか^かい^いで^でお^おり^りも^もの^のを^をお^おて^て
い^いて^てき^きで^でも^もお^おえ^える^るの^のか^かき^きに^にな^なっ^った^た。

て^てお^おり^りき^きに^にひ^ひつ^つよ^よう^うな^など^どう^うぐ^ぐ
食^食品^品ト^トレー^{レー}・糸^糸・ハ^ハサ^サク
え^えん^んひ^ひつ^つ・定^定規^規・セ^セロ^ロハ^ハン^ンテ^テー^ープ
1¹台^台目^目の^のて^てお^おり^りき^き。

つ^つく^くて^てみ^みて^てたい^{たい}へ^へん^んだ^だ。つ^つく^くる^る
の^のに^に2²時^時間^間か^かか^かった^た。
1¹ば^ばん^んさい^{さい}し^しょ^ょの^のは^は、コ^コース^{ース}ター^{ター}とい^い
う^うか^かた^ただ^だの^のぬ^ぬの^のた^た。よ^よこ^こい^いと^とを^をき^き
く^くし^しめ^めす^すぎ^ぎた^た。

2²台^台目^目

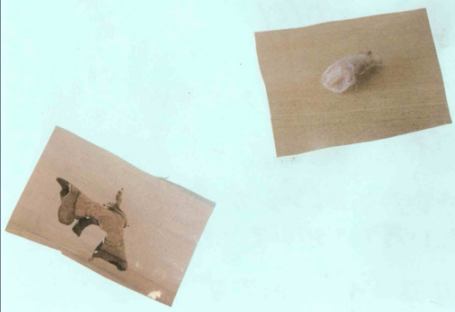



2²台^台目^目は^は、よ^よこ^こい^いと^とを^をき^きつ^つく^くし^しめ^めす^す
ぎ^ぎな^ない^いで^でよ^よこ^こい^いと^とを^をか^かる^るく^くし^しめ^めて^て
つ^つく^くた^た。ま^ま、す^すぐ^ぐお^おれ^れた^た。よ^よこ^こい^いと^とを^を
き^きを^をつ^つけ^けた^ただ^だけ^けで^でこ^こん^んな^ない^いう^うま^ま
く^くで^でき^きた^た。
3³台^台目^目の^のお^おり^りき^きは^は、ほん^{ほん}もの^{もの}の^のて^て
お^おり^りき^きで^でや^やて^てみ^みたい^{たい}と^とおも^{おも}った^た。

あたらしいきもん
クワコのいとをとるため
のキコはあるのか?クワ
コとキコをひんしゅがいり
うしたらカイコになるのか



威木目
そめるのがたのしかった。
いとをとるのがむずかしかったけどきまいた
った



ぼくのクワコプロジェクト



ぼくは、
おりものをみ
てクワコのきぬ
いとをつけたお
りものはあるのか
というのが変になり
ました。カイコはよくつ
かあれるけどクワコは
なぜそんなにつかあ
ないんだろうと気にな
りました。

クワコはどこにいる?
日本、中国の山野に生息していて日本に
は北海道でほかでは、本州、四国、九州
、文才馬屋久島にクワコは今もまだ生きてい
ます。

クワコとカイコのちがい
カイコ クワコ

色はぜんぜんにいていなくてカイコともようはに
いて羽がでかいのにとべない クワコのまゆ
まゆのちがい



クワコのまゆ
は小さ
てあた
がたか
いじぶ
んの目
みては
い

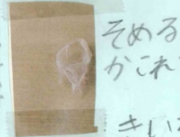
いととりじっけん
カイコのいとをとってランプにしてみました
すごくむずかしかったけどなんと
かいとをとってランプがつか
いできました。いとをとるといこと
にくせんしていなくてくぎをうつ
ころがむずかしかったです



こんどはクワコです
クワコはいとがぜんさいで
ぜんぜんとれませんでした
でもいとがカイコよりかんじょう
でかかったです。



クワコのいとをそめた!
そめるまえ こ木がそめ
かこ木で たあとです
きいろとオレンジがまじわったみたい
ないろできれいでした
せんりょうはみかんのかわです



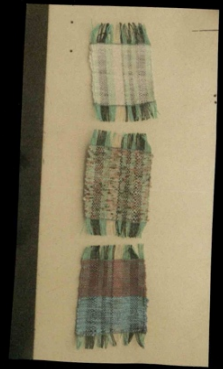
③ 糸を染める時に、
何の色が染まる
のか気になった
ので、染め物を
やってみました。



・なんじの実 → うすうす
・みか → 皮 → オレンジ色
・ごぼう → 皮 → 栗色
・アサギ → 矢貝 → 紫、水色、うす紫
・三ヶヶ → 煮かき → かなべで煮て、目かけたら
きれいな色が出た。
・次は自分で染めた糸でおこしてみたい。

おりのプロジェクト

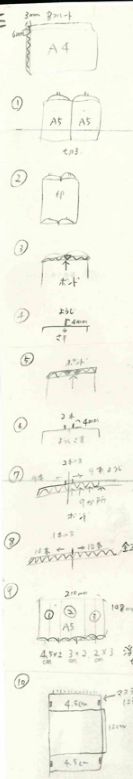
ていしで1cmおりの
何がわかるか調べた。



感想

やってみて楽しかった。おり物は、糸を染
め物、より糸、たくさんの方がかかっている
と分かった。

作り方



① 手作業で1cmおりに何
かかるか言明けるため
ダンボールより木綿を
やってみました。

ざらよう

ダンボール、つなごうい、ボンド
・アタキングテープ、毛糸
・アーク糸とおし

感想

はじめて作った時は1cm
おりに、2時間かかった。
大変だったけれど楽しかった。

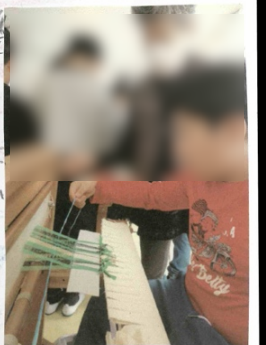
つなごう
いにして糸
をかけて
糸と糸を
つなごう
いにして
おいて
いく。



② 本物の羊おりをやりたい
なため、大阪のおり協会の
のかたに来てみた。

お、本物の手おり木綿
での作り方を
調べた。

自分でもやってみたが
ので本馬教室を調べ
たら、大阪にあることが
分かった。
学校交に来てお話を
した。



本物の手おり木綿
は、足踏み式で
上糸下糸を
かきかたはたした。

新しいぎもん
外国の手おリ機は、
どうやってつくっているの？

感想

外国のおリ機は、日本のと
ぜんぜんちがうのが多くて
びっくりした。手おリ機づくりは
むずかしかったです。外国のおリ
物は、花がらが多くてびっくり
しました。

わたしの外国の
おリ物プロジェクト！

おとうさんの工場見学に
行ったときに、外国では、
どんなおリ物が
つくられているのか、き
になりました。



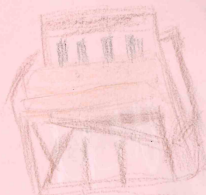
いろいろな国のシルクやせんす

かんこくでは、きぬで、おリ物
をつくっていました。うらと、
表で色がちがいました。
わたしが調べたのは、
花がらの、おリ物でした。
中国では、きぬで、せんすを作
っていました。わたしが調べたの
は、ほとんどが赤色でした。

いろいろな国のおリ機

インドのおリ機は、日本とぜんぜん
ちがいました。中国のおリ機は、
とても大きかったです。タイとアメリカ
のおリ機は、日本のよりちいさ
かったです。カナダのおリ
機は、ほとんどが木で
できてびっくりしました。

↑カナダのより機



インド風しゅうかんさつ

3つのインド風しゅうを、
かんさつしました。
つるつるしたのやざらざら
したしゅうでした。でも、
しゅうなので、おリ物
とは、ちよとちがうと思
いました。けど、がらは、
花でした。

手おリ機づくり！

まずは、たいとをつくらしました。

つくえに、いとを、ぐるぐるまきつけました。
たいたい80回ぐらい、まきつけました。
そして、5本ずつの、たばにして、手おリ機
に、かたむすびしました。まだ、ちよせん
ちゅうです。

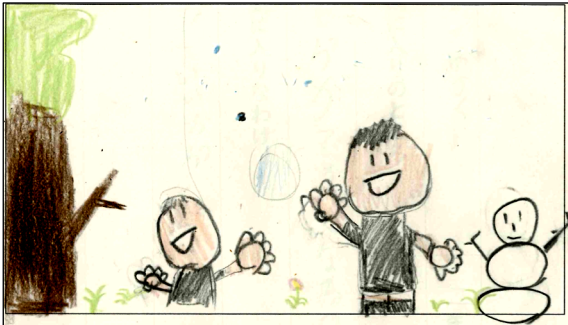




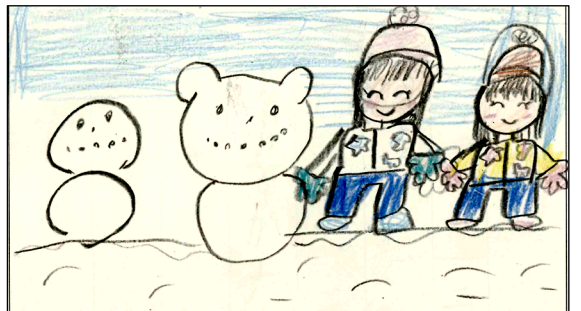
ゆきあそび
 〇よる、おはあ
 ちゃんちでよる
 が、人をたべてい
 ました。そとをみ
 たら、すこしゆき
 かふっていました。



ゆきだるま
 わたしは
 ゆきだるま
 加大すま、
 すすそれ
 ぐさ、いさ
 んゆきだるまにはいっている



ゆきだるま
 又、休みと
 でき、がせんを
 しました。
 が、おもしろ
 かったのです。



ゆきだるま
 ぎょねんの冬に、いもう
 とといっしょにゆき
 だるまを作りました。
 楽しかったです。
 さんともやりだいです。

ことし つる 今年も都留のまちに冬がやってきました。

わたしたちはこの冬の出来事を日記にしました。

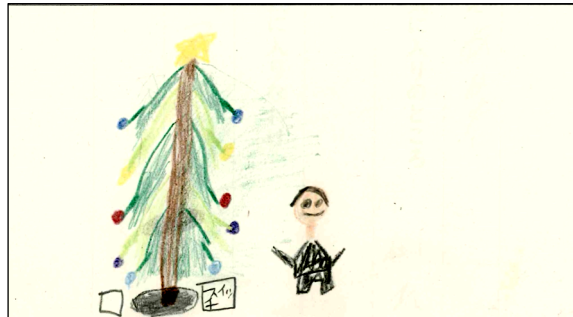
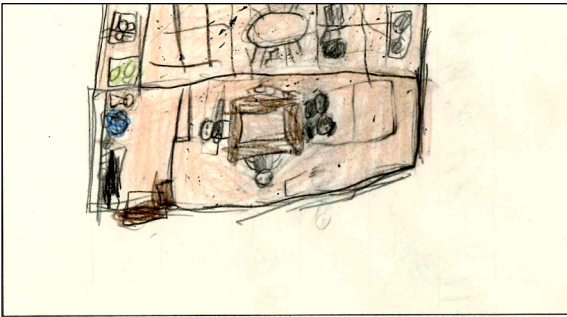


さざんか

わたしはさざんか
を見ました。こい
ピンク色でした。
さむかったので
こまっていた。ま
いはさいたいら見たい

ゆず

とうじの日ゆず
を食べました。
すっぱすぎて
目がとびでそう
になりました。
おいしかったです。



クリスマス

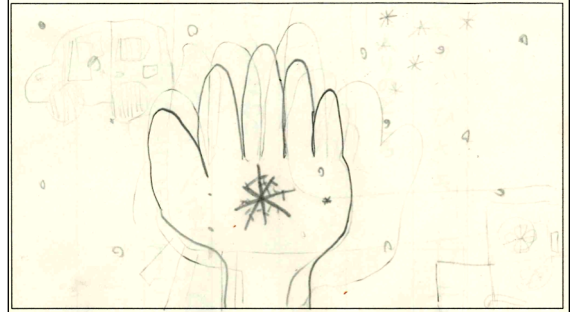
クリスマス
にスイッチをたのみ
ました。

クリスマス

クリスマスで決らせ
んとをもらうのを
たのしみになっていま
した。
がれせんとをもら
うのがたのしみだ



雪だるま
 ○わたしは雨だ
 るまを作りました。
 楽しかったです。



ゆきのけっしょう。
 きねんにゆき
 ガラスバカがいし
 にいくのおみあくり
 をしこつどぎせ
 みたらゆきのけっし
 づがまりましたおれ
 れしたです。

^{まいとし}毎年^{ふゆ}くりかえしやってくる冬。

この冬^{ふゆ}も、あなた^{なに}は何^みを見たでしょうか？

この冬^{ふゆ}も、あなた^{なに}は何^みをしたでしょうか？

でも、その冬^{ふゆ}は、毎年^{まいとし}おなじよう^みで、まったくおなじではありません。

あなたはこの冬^{ふゆ}、何^{なに}を見た^みでしょうか？

あなたはこの冬^{ふゆ}、何^{なに}をした^みでしょうか？

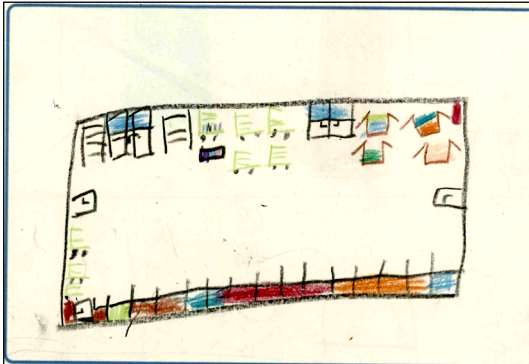
^{きせつ}季節は、くりかえしやってくる。

でもその風景^{ふうけい}は、おなじ^みだけど、おなじじゃない。

あなたは、この冬^{ふゆ}、どんな季節^{きせつ}の風景^{ふうけい}を見つ^みけましたか？

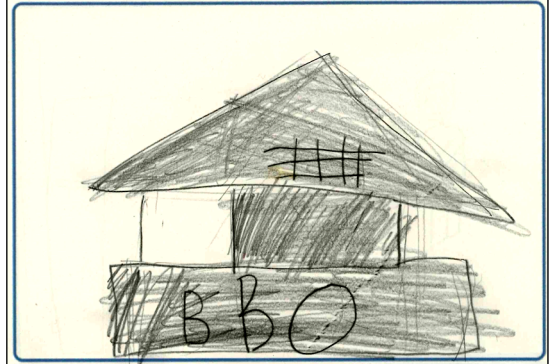
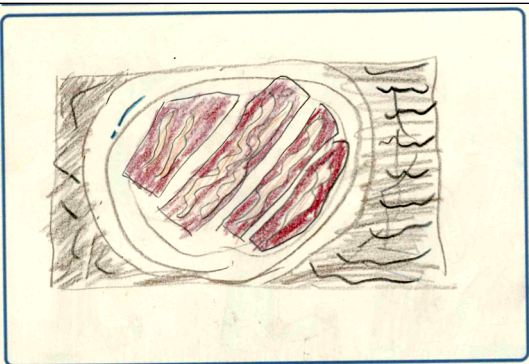
まちを発見 (2年生)

わたしたちは、^{ちいき}地域にある^{みせ}お店を訪ね、^みそこで見つけたことをまとめました。




11月14日 金曜日 天気(はれ)
 オギノにいきましました。
 魚を売っている、リ
 ンがいました。
 ありました。
 ました。
 ました。
 ました。

11月14日 曜日 天気(はれ)
 たのしかったわ。
 もつりみかきした
 い。すごかったの
 しかつた。どくに
 あれがすこしかったな。
 たのしかったわ。
 たすしをつくってる
 ことかすごかった。
 こはんがうえか
 らでここきたのさ。
 いごがすごかった。




11月21日 金曜日 天気(はれ)
 キョウキたんけん、
 しゃんしゃんやさん
 行きました。三じかん
 へ行きました。おにきを
 見ました。おいしそう
 でした。つきも行って
 ました。

11月21日 金曜日 天気(はれ)
 エベつつちていり、
 て、ま、ま。
 ーちていれまじやて
 見たよ。お、お見
 たいでかつーあつた
 です。ーちていれつ
 かんがけるんてほ
 くとらに、ス、ス、ス。

<p><年中行事の様子、イラスト></p> 	<p><どんな年中行事について> おはさくまつり</p> <p><何について調べた?> おはさくのやたい</p>
---	--

<調べて分かったこと>
おはさくまつりの場所はこうかいにかざられたやたいに似ています。うごくしゃいぶつてんといわれます。またおはさく(舟)のものが見事にかかれています。うまかはおとりとらうしの4つあります。このようにやたいにはいろいろな見どころがあります。

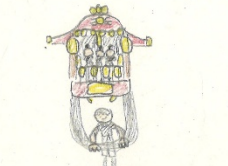
<気づいたこと、感想>
おはさくのやたいについて調べてみてびっくりおはさくはこんなに面白かったです。

<p><年中行事の様子、イラスト></p> 	<p><どんな年中行事について> 八朔祭り</p> <p><何について調べた?> 大名行列</p>
---	---

<調べて分かったこと>
大名行列の歴史は江戸時代から下天神町に伝わり、現在に至ります。その起源は当時谷村を治めていた秋元喬矢と呼ばれる大名が川越に領地を移動させる際、下天神町に衣装などの大名行列の道具一式を置き土産にしたことにあるとされています。それらの道具を使って自身を偲んで欲しいと下天神町にいた臣下に述べました。


<気づいたこと、感想>
調べて大名行列にいろいろな歴史があるのなと思いました。



<p><年中行事の様子、イラスト></p> 	<p><どんな年中行事について> おはさく祭り</p> <p><何について調べた?> なま回やてるか?</p>
---	---


<調べて分かったこと>
おはさくは41回やれて多くの人が参加した。9月6日～7日までやる土成下町都留の秋を彩るおまつりつるしを代表するおまつり。おはさくまつりは令和7年9月6日(土)にはじまる。おまつり3:00～10:00までやる。なまびもい。はいはなび外で。XIN会場は谷村第一小学校本木庭でおまつりをやる。


<気づいたこと、感想>
おはさくまつり41回やれて多くの人が参加した。いろいろした。!!


<p><年中行事の様子、イラスト></p> 	<p><どんな年中行事について> お八朔祭り</p> <p><何について調べた?> いつ女台まったのか</p>
---	---

<調べて分かったこと>
江戸時代から続く生田神社の伊弉祭として毎年9月1日に行われてきました。2025年第41回ふるさと時代祭りは、9月6日(土曜日)と9月7日(日曜日)に開催されその前の約1週間は「おはさくウィーク」として様々な企画が行われる予定です。都留市のお八朔祭という愛称で親しまれています。


<気づいたこと、感想>
江戸時代から続いていてびっくりした。


<p><年中行事の様子、イラスト></p> 	<p><どんな年中行事について></p> <p>ふるさと時代まつり</p> <p><何について調べた？></p> <p>どこでなされるか なんでしょうかについているのか</p>
<p><調べて分かったこと></p> <p>春日市 春日市でやたいおまつりの人がやたいおまつり のる うまがみれるまつりといわれている 春日市もあるしているのをあつたしゆれ ていた。 ほかのばしとちゆみでまをあてるまつり はあつたのちゆみ</p>	
<p><気づいたこと、感想></p> <p>どうゆうことかおまつりとはなしてどうゆうまつりかおまつり かた</p>	

<p><年中行事の様子、イラスト></p> 	<p><どんな年中行事について></p> <p>八朔祭</p> <p><何について調べた？></p> <p>おまつりについて</p>
<p><調べて分かったこと></p> <p>はっさくまつりはつるしをだいなうする おまつりです。 ぐんない三まつりの ひとつにかぞえられまいし9月の はじめにおいでじんごのあつのおまつり として行われましました。じもとでは 「おはっさく」とよばれています。</p>	
<p><気づいたこと、感想></p> <p>ゆうめりのおまつりだとわかりました</p>	

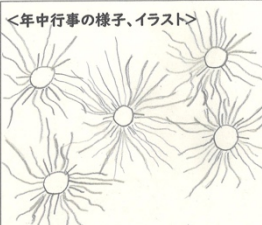
<p><年中行事の様子、イラスト></p> 	<p><どんな年中行事について></p> <p>おはっさく</p> <p><何について調べた？></p> <p>おはっさくかいつつるし にはじまったか</p>
<p><調べて分かったこと></p> <p>はっさくまつりなどまつりなどまつりなどまつり いろいろイベントをあつています。ふるさと日 まつりなどいろいろイベントをあつて います。</p>	
<p><気づいたこと、感想></p> <p>おまつりもいろいろあつてびっくりした</p>	



<p><年中行事の様子、イラスト></p> 	<p><どんな年中行事について></p> <p>お八朔祭り</p> <p><何について調べた?></p> <p>いつから始まったのか</p>
<p><調べて分かったこと></p> <p>江戸時代初期から始まっています。 1633年(寛永10年)に始まる秋元氏の 治世への感謝を込めて当初は生田神社の 例祭として行われていたものに1704年 の秋元氏の川越への転封を機に行列道具 が残されたことに由来すると伝えられて います。600年以上の歴史があるとされて います。</p>	
<p><気づいたこと、感想></p> <p>600年以上の歴史があることにびっくりした。</p>	

<p><年中行事の様子、イラスト></p> 	<p><どんな年中行事について></p> <p>らるさと時代祭り</p> <p><何について調べた?></p> <p>らるさと時代祭りの 歴史について調べた</p>
<p><調べて分かったこと></p> <p>らるさと時代祭りは41回もやっている。 らるさと時代祭りは1895年(明治28年) から始まった。らるさと時代祭りの本祭りは 神しのび人行ウケ行ある日のこととして いる。らるさと時代祭りの時代は江戸時代 の大名行列をさいげんしていることに由来し ます。</p>	
<p><気づいたこと、感想></p> <p>んがもしくおこした。 やたいくたさんかた。</p>	



<p><年中行事の様子、イラスト></p> 	<p><どんな年中行事について></p> <p>おはっさく</p> <p><何について調べた?></p> <p>はなび</p>
<p><調べて分かったこと></p> <p>はなびは2月間で700発うちあけら れていて昨年の2位うちあけられ ている。お成山の見台からうち あけられている。花火は60分間に約 4000発うちあけられている。やま らたいいす小ではなびをうちあける。</p>	
<p><気づいたこと、感想></p> <p>見たことがないのはなびがあ てびっくりした。</p>	

とくしゅう
特集 うたう

し え たいわ
詩、絵、対話、エッセイ

それぞれのかたちであらわされた
ひとりひとりの〈うた〉

みちが しぜん み
身近な自然を見つめ、
ひび く み
日々の暮らしを見つめた、
そんな、わたしたちの生活から生まれた〈うた〉

ひとは、
うたうことで、
み しぜん
見えていなかった自然や
き と
気づいていなかった問い、
そして、じぶんの気持ちや思いに出会うことができる

あなたは、
どんな〈うた〉をうたいますか



は いく
俳句づくりにチャレンジ！ (3年生) ねんせい

はる
<春>



おささぎよ
上春一番に
とんごゆく




春休み
春一番の
楽しみだ




きれいだな
さくらの はなびら
ひらひらと




うぐいすの
春のたぐい
あいたいな



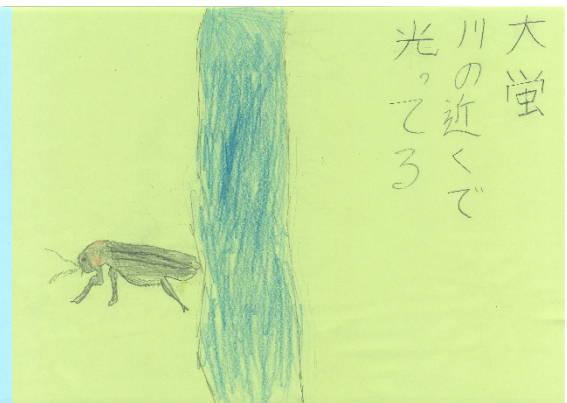
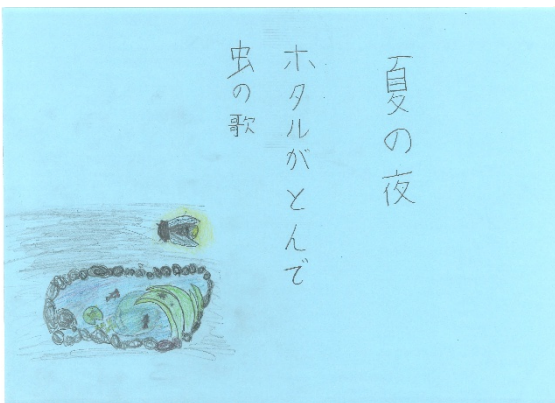
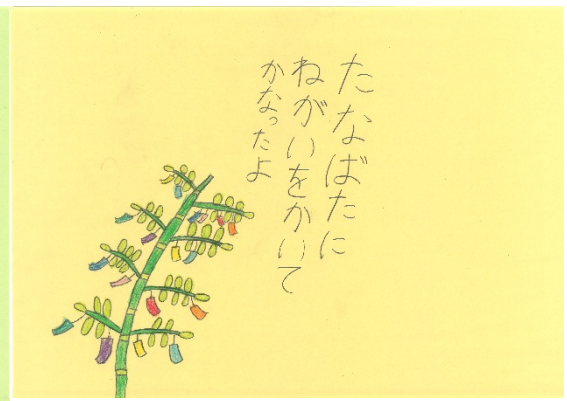
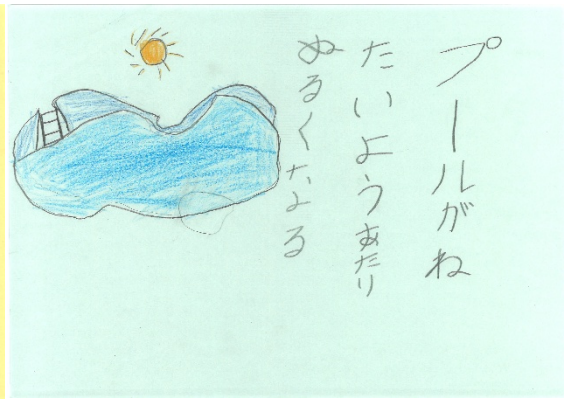
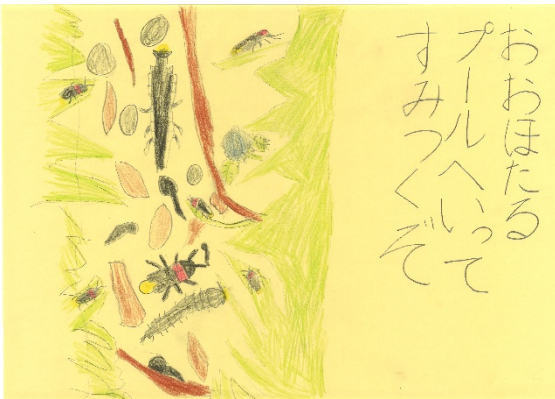
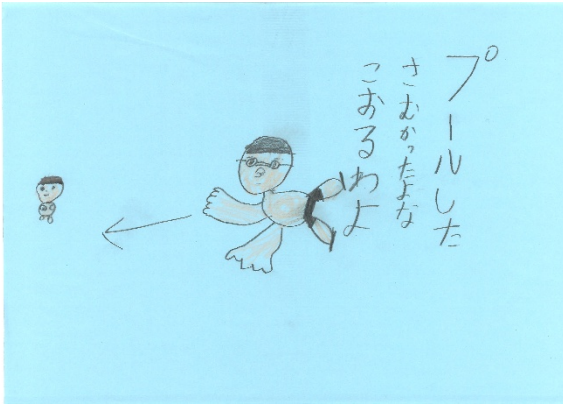
ふじの花
すずめ羽ばたき
雪とける

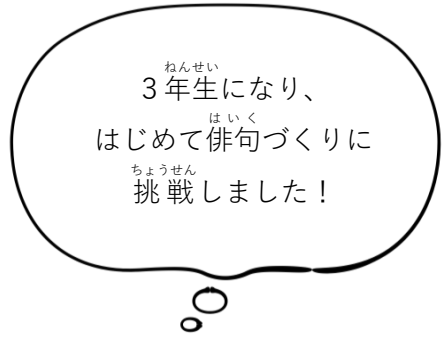
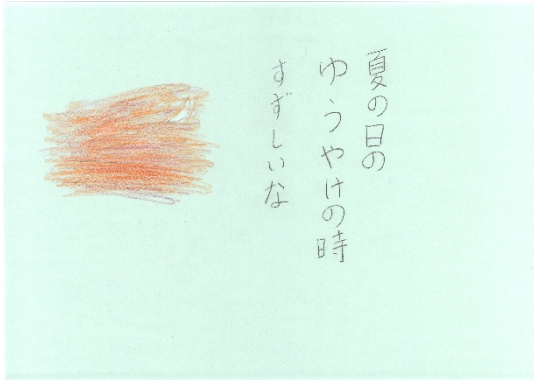


さくらの木
ピンク色した
花びらだ



かせいの子
みんなあつまる
さくらの木



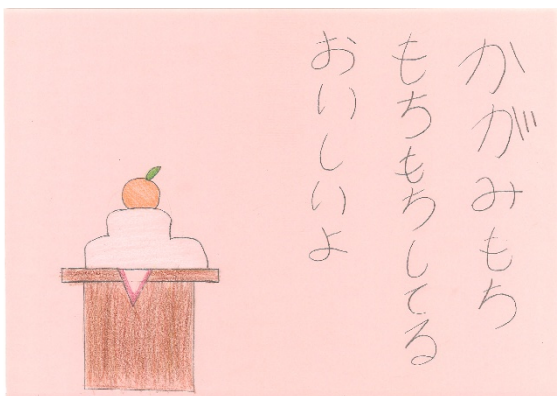


あき
<秋>



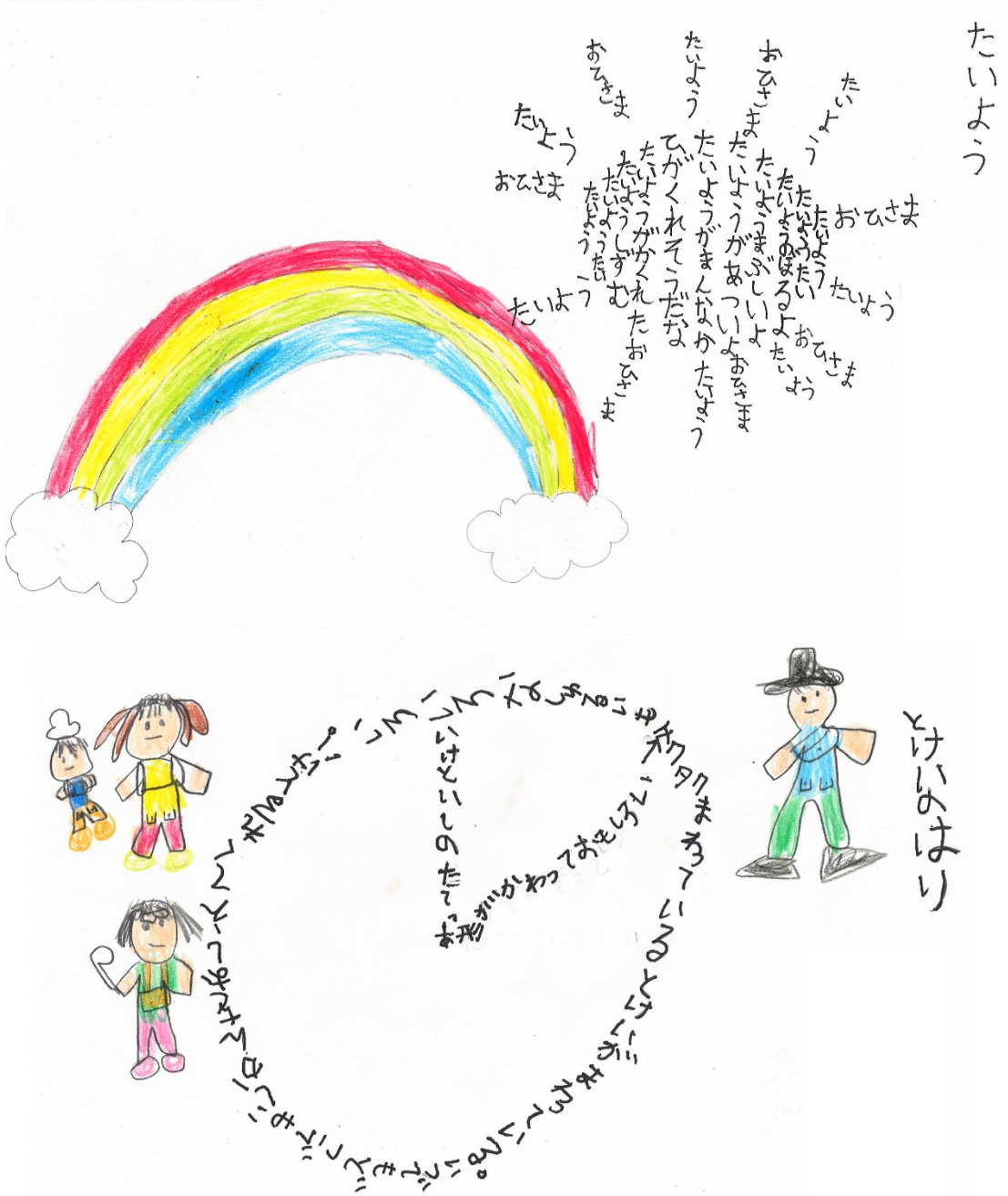
季語を選んだり、「五・七・五」に合
せて言葉を考えたりするのはむずかし
かったけれど、自然のようすを短い
言葉で表すおもしろさも感じました。
十七音という少ない言葉の中で、
自分の気持ちをうまく表せた時のうれ
しさを知ることができました。

ふゆ
<冬>



おも ^し ^こ
思いを詩に込めて (3年生) ^{ねんせい}

だいいい ^し ^{かた} ^{くふう} ^{じぶん} ^す
 題名から詩のつくり方まで、みんなでたくさん工夫しながらつくりました。自分の好きなものや大切にしていることを思い出しながら、心こころに浮うかんだ場面ばめんや気持ちきもちを、ていねいに言葉ことばにしていきました。言葉ことばを選えらぶたびに、「こんな気持ちきもちもあったんだ」と気づくことがあって、詩しをつくるのがどんどん楽しくたのなっていました。読よんでくれたみなさんにも、わたしたちの思いおもが伝つたわったらうれしいです。



かたいせなかに
ぶっといからだ
とんでゆく
むしの王
しずかにまこま



くわみたいのをつけて
わかりづがいいろをしていて
がっこうではみかけない
たかくとぶ



ふたつにひろく

でっかくはない

ばくだんできない

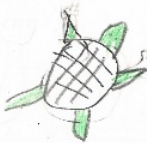
これはなに？



ちきゅううらつかす

かめうつかす

らいおんとたたら



しろくて

まるくて

えさは雪

なかなか見られん

が、まごの小だいいみだい



きって、はってみよう！ (1年生)

おも おも お がみ さくひん し あ さくひん
 思い思いに折り紙を、きったり、はったりして、ひとつの作品に仕上げました。作品ができたところで、そこから発想を広げ、あとから題名や場面を考えてみました♪



シヨツピングモール
 かぞくごまかいものにはまします。
 ドーナツやさんについて、E.P.さんの
 ドーナツをかいます。とてまたのし
 びです。

かぞくごまモール
 かぞくごまモールにはまします。
 のかたのしのかたごまはくと
 びなごまはかたごまはと
 あはれいごまといまします。

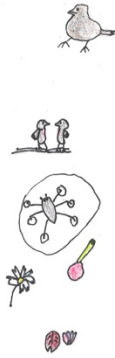


年々日記巻

門の前にカモミールがさい
いた。サクラの木の下にサクラの池
にスイレンの花があった。アメンボ
かたくさん池にいた。

ずみ屋の近くに丸っこい鳥
が歩いてきた。空にたくさんツバメ
がいた。ツバメが二羽話すように
とまっていた。

とても春を感じる日だった。



いそがしそう

スズメは子どもがらびきいてエサをさがしているが
そう

ヒキガエルはひしにびんびんは抱いていそがしそ

モシキキウはバタバタ船にいそがしそ

アメンボは池の中をすいすいとまよいて気持よそ



とりがいた

いろんなしゅるいの
とりがいた。

ツバメやしらない
とりがいた。

しらないとりは

おしりフリフリ

ひよんびんはねてて

車の下にすがあった。

ツバメはおをフリフリ
てつぼうにとまっていた。

はっばや木がたくさんな春

木のしるいがちがうだけ
つまつまつるまきまはは
ふわふわはは
まごまごはは
ざらざらはは
ははのにおいが
してくるよ
春だ
春だ
春がきた

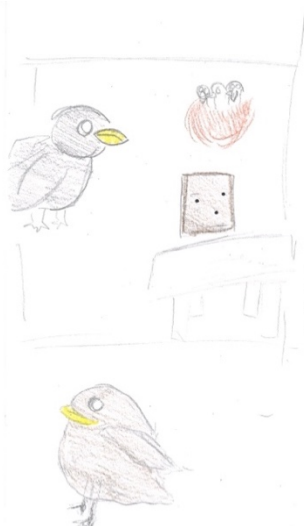


親鳥の毎日

親鳥は子どものせいで

大へんだ

だから休むひまもなく子ども
をまもるだからこそ親鳥だ
子ども、大人も安心だ
人間たちも安心だ



とべないとり

ぼくはぼつえんまみみたらとりがいた。
とりはとべなかつた。
ぼくはとべない鳥がたにこにこついた

つばみがきた

ぼくは見た。
つばみの母さしごにまをとりにいってたがたごつ
た。
えしたら体者食うらにいたらもどかんへいだからい
つくりした。
ぼくはとにいらていたかがわかつた。
そはただた。ぼくはひくりました。

カラスのす

ぼくはみこひくりました。
カラスのさがナイターのうにすがあたら
ぼくはあじろいた。



春が終わって夏が来た

金魚がすいすい泳いでた。

赤トンボがきもちよきそうに旅してた。

トマトを見つけた。色は、赤、黄、緑があった。

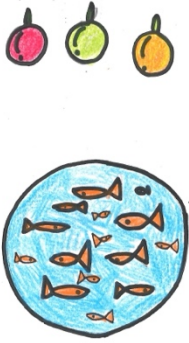
テントの屋根にたまった水。

木にじゅえきがいっぱいあった。

せみがきゅうに落ちてきた。

つばめがパソコン室にはいりまわってた。

またまたつばめがやってきた。



夏のいきもの

ミンミンうるさいせみがいた。

せみのぬけがらがあリそうだ。

オがしてみると上と下にせみの

ぬけがらがあつた。少しうがちがう。

せみをさわるととんでた。

ユミきのしゅ

びよんびよんびよん。びよんはねてた。

あかトンボもーびぎいた。

とまるところをさがしていた。

日暑い夏いろいろな虫

かなやにとに大きい緑色の

ギこあげけのようちゅうぶ

かいてみるととてもくさい。

外にでる、むしろ日暑いだが体育館

うらはすつしずしい。

体去月館うらにもんしろちゅうや

キリギリス、トノサマバッタ、ミンミズ、

へんな虫がらはいりる。

スリ先生がしろつめくさのながかり

をつくっていた。

あつりなう

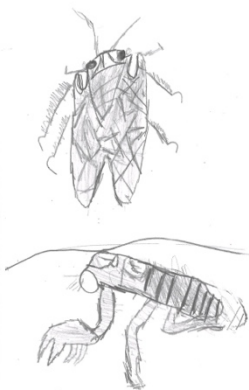
あつり。せみがいた

木口じゅえまがまた

赤とんぼがいた

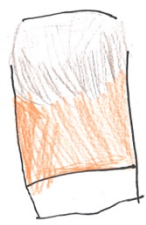
せみのぬけがらがまた

バッタがいた



年々日記(夏)

校上庭のモミジの小さな葉がたんたん赤くなっていた。池のスイレンの葉のつぼみがさきそうな気がした。せみがサクラの木から地面におちた。せみのぬけがらが木にあった。校舎のツバメのすのこの中にもうヒナはいなかった。またまた夏は長いな。



百夏だなまう

とげをたすキアゲハチョウ
においがとてもくせいに
バナナの木があつては、はがおい
もみじはあいたをみるとき木い
ショウリョウバッタはピョピョはる
セミがミンミンないている
トマトにみがあつて赤色だつた
サハのあかがきおいたなまう
夏になつてきたなまう



秋あきらしい

秋あきぽくやよってききた。

イチョウいちょうがいろづいてきた。

シジミしじみイチョウいちょうがいた。

カメムシかめむしがとんでいた。

秋あきがやってきた。

外そとに出ると気温きんぱんが寒い

鳥とりのなきぎこなきぎこネネややネネの虫むしのなきぎこなきぎこえ

金魚きんぎょはよくよくかあり

赤あかい葉はや緑きょの葉はがありいいおと

かする

花はなはほとんほとんどどかかれていてダンゴ虫むし

みみたいな虫むしももいる

これこれがぼくのあき



たのしい秋

バッタ カマキリ トンボ

もみじもみじきれきれしたな

くりくりももドンドンゲリゲリももいいっっぱぱいいままちちてる

ああカカタタツツムムリリみみつつけた

ああハハウウィィンンががぼぼををももみみつつけた

たたののししいい秋あきののははじじまりりだ



さみしい秋

かれておもうくなつたせ

秋になつて木の上がもうなくなつた寒の木

なんだかさみしいな

虫がいないセミが

ミンミン

ないたのにもういない

とりがとんでいない

チュウチュウ

ないていない

しずかだな

秋、しずかだな

さみしい
さみしい
秋がきた

あきこそまっている

きんぎょといっしょになかよく
いるスイレンの葉

赤くと、おちばがいいおとで

もみじが赤くそまっている

つるみたいなの、ふじの木

みんなあきこそまっ
ている



秋の冬

今日は外が寒かった

フジが実をつけていたけど少
なかつた

サクラの木の下に落ち葉がた
くさんあつた

よく見ると落ち葉にあなが
あつた

長田さんが赤色の実をつけてる
きのえだをみさずっていた

みたらその赤色の実をつけた
きがあつた



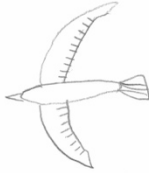
冬の生き物

ふじの木の上にカマキリのたまご
の下には小ぎん白キノコ
その下にはモグラいる
そのうたにサギやカラスとんでる



とり冬

まぎんぎんがさびにたべられた。
へえーそうなんだあー
トンビかとんでいる
でかい。なんでとんでるんだ。
ふじの木の上にとりのす
ここにとりのすをつくらてるぞと
冬のとりもぎんぎん



冬の生き物

きんぎんがさびむくて石にかくれた。
ふじの木の上にしずかな鳥の
すがあった。
かたつむりのからおすていた。
かまきりのたまごここあった。
かまきりのたまごが、みたいな。
さむい冬かばじまった。



しずかな冬

冬はあまり虫がない

秋とちがって木がかれて葉も

なくなる。冬の空は、やっぱりくもり

さむい。冬だからトンビがとんでいる

のかも。まっぼくりもおちていて、すごく

冬を感じたよ。



寒い

もう寒いのでトンビがいた

すごく寒いからしもばしらがあつた。

もう寒いから草がかれてる。

もう寒いから木のえだしかない。

もう寒いけど木にキノコがはえてた

冬にモグラのあながあつた

もう寒いからバナナの木がかれてた。

寒いけどヘチマがあつた

冬にカマキリのたまごがあつた



春日に近づいた

木の葉が

たよくなつていた

まだ芭蕉がある木もあつた

プールの近くにシカのふんがあつた

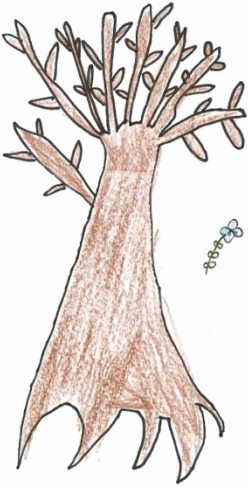
ホトケノザがたくさんさいていた

中庭に松ぼくりが落ちていた

フジの木の辺りにカマキリのたまごがあつた

オオイヌノフグリがさいていた

春日に少し近づいた



Eさん：クマがわるいって思ってるけど、クマは人間にいいこともしてるんじゃないかな。

クマがいることで、まさにサルも来にくくなっていたり。

Dさん：クマがいなくなると、草食動物とか他の動物がふえすぎると思う。「生態系」っていうんだけど。

Cさん：クマが人間をおそうのは、人間がこわいからなんじゃないかな。

Hさん：サルに、11月にうちの車庫をこわされた。シカも出てきたことがあるよ。

Aさん：クマがいなくなっても、平和にはならないと思う。クマがいなくなっても、次はイノシシがいる。

Gさん：クマが人をおそった人数が136人って聞いたけど、クマがいなければ、この136人だけでも平和になるんじゃないかな。

日々の暮らしの中で「なぜ？」と、ふしぎや疑問に感じたことを〈問い〉として声にする。そして、その〈問い〉をめぐって語り合い、聴き合い、問いかけ合いながら、共に考える。そんな、わたしたちのてつがく対話の記録です。

この記録を読んでいるあなたは、どんな〈問い〉をもっていますか？

そして、わたしたちに、どんな〈問い〉を投げかけたいですか？

あなたなら、どんな〈ことば〉や〈考え〉を重ねますか？

なんで「やめろ」ていわれたことをやりたくなるんだろう？

なんで「国」が分けられてるの？

なんで心、てモヤモヤするんだろう？

なんで学校があるの？

なんでどろぼうしてしるべねいのか

なんでホラーを見るとこおいの。

人ってなんで死にたいの？

てつがくエッセイ (4年生)

日々の生活の中で、ふとぎもんに思ったことについて「これって本当はどういうことなんだろう？」と、立ち止まってじっくり、ゆっくり書きながら考えてみる。そんな、じぶんの〈ふしぎ〉をだいに育てる「てつがくエッセイ」を書きました。

「なんでうまれたときに名前がつくの」

ぼくはなんで「りょう」と名前がつくのかとおもった。

「その人の名前がわからないからうまれたところにすぐに名前をつける人もいる。」とそうたくんがっていました。

おやがうんだときに「このこは、じぶんががんばってうんだだから名をつけているんじゃないの。」とさやちゃんがいてくれました。

「名前がないとおやがよぶときによべないし、もし名前がなかったらよべなくなるから。」とかずやくんがいました。

どうぶつも名前がついているから、人間も名前がついているんじゃないのとおもいました。まず人間がさいしょに名前をつけはじめてそれからどうぶつにもつけはじめたんじゃないのとぼくはおもいます。

ぼくは、うまれたときに名前をつけるのは、名前があると友達になれるから名前があつてよかったとおもいました。

「なんでようかいをみたしょうこもないのにうわさをひろげるの？」

学校帰りに家で宿題が終わってユーチューブをみてようかいのしんれいスポットの動画をみていた。そしてなんでそこがしんれいスポットとわかったのか、とぼくは思った。ぼくは、なんでようかいをみたしょうこもないのにうわさをひろげるのとぼくは、そう思った。

でも予想だけどうわさをみんなにひろげて人気者になりたいからだと思う。たとえばSNSで「トンネルの中にようかいがいた」というけどただの通行人をかんちがいただけだと思う。

SNSで「トンネルに女性のゆうれいがいた」というと人気者になれると思う。

時間がたつてもう一回考たけど人気者になりたいからうわさをひろげるんだと思った。



「なんで、口があるの？」

わたしは、家で家族といて、夜ご飯を食べている時に、ご飯をたべたりするのは、口があるからだと思ったけど、なんで口があるのかぎもんに思いました。

口がなかったら、なににもできないと思います。なぜなら、しゃべったり、食べたりできるのは、口のおかげだと思ったからです。

もし、口がない世界に行ったら、なにも食べたり、しゃべったりできなく、ふたんがすごくあると思います。

人間は、口でなんで、あたりまえのように、しゃべったり、食べたりできるの？

わたしは、あたりまえのように、しゃべったり、食べたりできるのは、人間に口があるからだと思いました。



「なんでけっこんするとお父さんのみょうじになるの」

てつがくのとてぼくは、なんでけっこんするとお父さんのみょうじになるの、ときもんにおもった。おかあさんのみょうじは、なんでだめなの。もしおかあさんのみょうじになったらどうなるの。

たとえばおとうさんとおかあさんのみょうじをがったいさせるのは、どうなの。おかあさんのみょうじの「きむら」と、お父さんの「はしもと」をがったいさせると、「きむらはしもと」だけど、みょうじがながすぎるからもうちょっとみじかいみょうじにしたい。

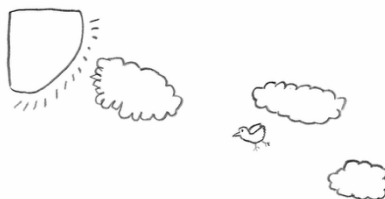
だから「はしむら」でいんじゃないかとおもった。おとうさんのみょうじでもあるし、おかあさんのみょうじでもあるからです。

「なぜ空は青いのか」

昼に二中のテニスコートで友達とテニスの練習をしていた時に空をながめていたら、ふと思った。

「なぜ空は青いのだろう」と。夕日だと赤いけど、朝とか昼は青いのはなぜだろう。くもりの日に雲の

下だと空は見えないけど、雲の上だと空は見える。雲の上の空の色は何色なのか気になる。なぜなら、いつも青空とはかざらないから。青空を見ると「きれいだな。」と思う。他の国の空は青いだろうか。他の県は今、どんな空なのだろうか。



「なんで日本はひらがな、かたかな、漢字、英語を勉強するの？」

私は夕がた家で一人で宿題をしているときに「なんで日本はひらがな、かたかな、漢字、英語を勉強するの」と思いました。なぜなら外国はひらがなやかたかなを勉強しないのに日本は英語を勉強しているからです。

もしも全ての国が同じ言葉を話していたらどうなるんだろうと考えました。たとえば全ての国が英語を話していたらひらがな、かたかな、漢字を勉強しないでアルファベット26ことアルファベットを組み合わせた単語をおぼえればいからです。するとこんなにたくさん文字をおぼえないで楽しほかの国の言葉も分かったと思いました。

なんでみんな同じ言葉にしないのか考えたけど分からなかったです。



「なんで赤ちゃんはしゃべれないのに、だんだん大人になっていくとしゃべれるのか」

なんで大人はしゃべるのに赤ちゃんは何でしゃべれないのか不思議に思っている。他にも赤ちゃんは歩けないし、背も違う。大人と違うところがあるのが気になる。しかし、赤ちゃんとしてはしゃべっているつもりなのかもしれない。赤ちゃん語で「バブー」は「きて」、「泣く」は「かまってほしい」、「まんま」は「ママ」。

妹が生まれたときにかわいいなと思った。しゃべれなくても気持ちが分かった。心がつながっているから。でもしゃべれないと、幼稚園や小学校に行くのに友だちと遊べないし何もできない。だから、練習するのだ。

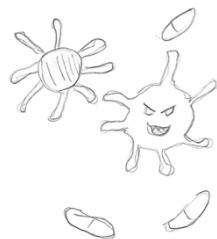
しゃべれるようにお父さんやお母さんが色々な事を教えている。例えば、物の名前とか。僕も、食べていいものと食べちゃいけないものを教えた。妹が、最初に言った言葉は「パパ」だ。

「なんでびょうきにかかるんだろう」

ぼくは、コロナやインフルにかかったときに「なぜびょうきにかかるんだろう。」と思いました。

のどがいたくてかぞくといっしょにくすりをもらってベッドでねていました。ぼくは、びょうきにかかるのがいやでした。なぜならいつもげんきに学校にいて、ともだちといっしょにあそんだり勉強して楽しくらせるからびょうきにかかるんだろうと不思議でした。もうにどとかかりたくないと思ってもまたかかってのくりかえしでびょうきの種類も多くなって、もっとびょうきになるかくりつがどんどんあがってきました。びょうきにかかったときにまた「なぜびょうきにかかるんだろう」とずっと不思議です。

なぜびょうきの種類がふえるんだろう。びょうきは、人のなんなんだろう。と思いました。なぜならびょうきの種類はふえて、のどや頭や体をつらくさせているから。もうびょうきの種類もふえてほしくないからどうやってふやさないようにするのは、まだまだなぞで、ずっと考えて、もしびょうきがなければみんな元気に生きていられるしガンになったら、急に死んでしまうからびょうきがないほうがぼくは、いいと思うけど、ぼくが、そう思うだけでびょうきがあったほうがいいと言う人もいるかもしれないから、まだびょうきがあったほうがいいのかびょうきがないほうがいいのかはまだまだ分からない。



※人物の名前は全て仮名にしました。

また、個人が特定されないよう、一部修正を加えた箇所があります。

こどもフィールド・ノート

編集後記

子どもたちが都留の自然と生活を見つめ、記録し、表現した〈ことば〉を集めた文集『こどもフィールド・ノート』は今回で第3号となりました。この文集は、この地域で「フィールド・ミュージアム」の活動をしている都留文科大学地域交流研究センターとともに作りしました。この『こどもフィールド・ノート』の試みは少しずつつながりを生み、今回、市内の小学校三校の子どもたちが制作した作品から文集を編むことができました。都留という地域のおもしろさや美しさを、そして都留に暮らす子どもたちの素晴らしさや美しさを、より広く、そしてより深く伝えることのできる文集になったと感じています。この文集の制作にご協力いただいた子どもたちや保護者の皆様、教職員の皆様、そして都留文科大学地域交流研究センターをはじめとした都留文科大学の皆様感謝いたします。

教育学者である大田堯さんと、動物学者である今泉吉晴さんの共鳴によって生まれた、都留という地域全体を〈屋根のない博物館〉ととらえる「都留フィールド・ミュージアム」というアイデア。都留文科大学地域交流研究センターを中心に長い年月をかけて育み続けてきたそのアイデアを手がかりとして、地域を舞台に子どもたちが遊び、学び、歌う〈ひろば〉をつくる。地域に暮らしや知の〈ライフ・ライン=いのちのきずな〉を築くためのこの『こどもフィールド・ノート』の試みを引き続き見守っていただけるとありがたいです。(北浦 貴之)



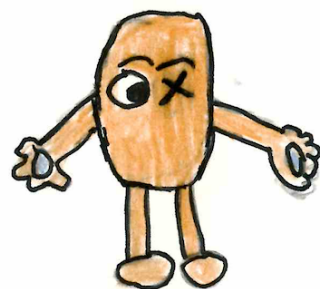
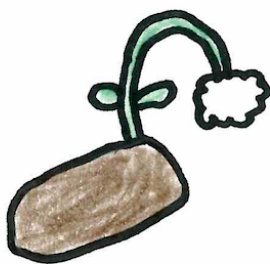
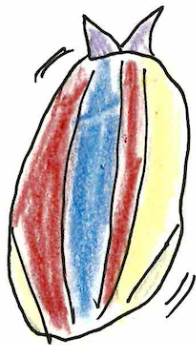
こどもフィールド・ノート 第3号

2026年3月27日 発行

編集 つるこどもフィールド・ミュージアム研究会

発行 都留文科大学 地域交流研究センター

〒402-8555 山梨県都留市田原 3-8-1



こどもフィールドノート

とは

子どもたちが、自らの暮らしている地域の自然や生活を見つめ、記録し、表現した〈ことば〉を綴じた文集です。

この文集は、都留に生きる人々が、都留という地域の現在・過去・未来を共に語り合い、そして私たちの日々の暮らしを共に語り合う〈ひろば〉を拓くことをめざしてつくりました。

地域を、そして日々の生活を語るのは、〈わたし〉自身だということ。都留に住むわたしたち一人ひとりが、地域の自然や生活の現在・過去・未来を語る〈語り部〉なのです。

